





Rotary

川崎大師ロータークラブ 週報

会長 炭谷 博功
 副会長 矢野 清久
 幹事 秦 琢二
 SAA 奥山 啓寛

例会日:毎週水曜日 PM12:30~
 例会場:大本山川崎大師平間寺信徒会館
 事務局:〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前1-15-10 カーサ石井1F
 Tel.044-277-7569 Fax.044-288-8550
 URL <http://www.kawasakidaishi-rc.com/> E-mail:daisi-rc.1973@air.ocn.ne.jp

第2339回 (本年度 第16回) 例会 令和4年11月30日 一晴一

●司会 奥山啓寛 SAA

●点鐘 炭谷博功会長



卓話者の紹介 炭谷博功会長

地区ローター財団補助金委員会 副委員長
 當麻 洋一様

11月 会員の入会祝・誕生祝・奥様誕生祝
 星野祐治親睦委員長

11月 会員の入会祝い
 鈴木幹久会員 1987年11月4日 (入会35年)

斉唱 「手に手つないで」
 八尋匡彦ソングリーダー



- 嶋崎嘉夫会員 1995年11月1日
- 猪狩佳亮会員 2014年11月19日
- 星野祐治会員 2016年11月16日
- 八尋匡彦会員 2016年11月16日
- 森田尊久会員 2016年11月16日
- 早坂清裕会員 2020年11月18日

- 11月 会員奥様誕生祝
- 横山俊夫会員 奥様 雅 美様
 - 矢野清久会員 奥様 綾 子様
 - 大崎克之会員 奥様 千穂美様

11月 誕生祝い
安藤賢一会員
横山俊夫会員



会長報告 炭谷博功会長

米山功労者感謝状
矢野清久副会長、坂東保則会員、松井昭三会員
内田省治会員、森田尊久会員、石渡勝朗会員



幹事報告 秦 琢二幹事

①ポスティング
11月理事会議事録・ガバナー月信11月号・ロータリーの友11月・12月号

②回覧
／移動例会 年忘れ家族会 日時：12月14日(水)
場所：横浜ロイヤルパークホテル

／献血活動 1月4日(水) 場所：大師駅前

／新春4クラブ合同例会 1月11日(水) 12：30～
場所：日航ホテル

／会員名簿

必ずご覧いただき、修正等があれば見本に直接ご記入ください。(出来れば赤字で修正がなければ、OKとご記入ください。)

／新年お護摩の申込み

本日と12月7日の2回をもって締切といたします。お申し込みの方、祈祷料は年内に事務局までお願いします。

③報告

／11月のロータリーレートは148円です。

／地区大会にて100%ロータリー財団寄付クラブバナーをいただきました。(ポリオ)

出席報告

早坂清裕出席委員長

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2339回	43	39	30	9	76.92%
2337回	43	43	43	0	100.00%
前々回の修正 メークアップ 0名			修正出席率 100.00%		



	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2337回	43	43	43	0	100.00%
2335回	43	38	21	17	55.26%
前々回の修正 メークアップ 4名			修正出席率 65.79%		

メークアップ

林 鶴会員、竹中裕彦会員、大谷 茂会員
佐藤和義会員

10月出席報告

ホームクラブ100%

宮山光男会員、嶋崎嘉夫会員、炭谷博功会長、
岩井茂次会員、須山文夫会員、牛山裕子会員、
内田省治会員、磯田 稔会員、布川 浩会員、
舞川扇彩会員、宮崎真一会員

10月の出席順位

433% 牛山裕子会員
300% 八尋匡彦会員
267% 炭谷博功会長、布川 浩会員
233% 星野祐治会員
200% 内田省治会員、舞川扇彩会員
167% 須山文夫会員、秦 琢二幹事
133% 宮山光男会員、磯田 稔会員、宮崎真一会員

炭谷博功会長

當麻洋様、本日の卓話、よろしくお願いいたします。

本日のニコニコのテーマ

「水當麻洋様、本日の卓話、
よろしくお願いいたします。」

平位 武会員	松井昭三会員	野澤隆幸会員
岩井茂次会員	舞川扇彩会員	星野祐治会員
矢野清久会員	牛山裕子会員	布川 浩会員
小泉敏和会員	檜山雄彦会員	宮崎真一会員
内田省治会員	猪狩佳亮会員	石渡勝朗会員
竹中裕彦会員	大谷 茂会員	早坂清裕会員
小林勇次会員		

スマイルレポート報告

矢野清久副会長



地区ロータリー財団補助金委員会
副委員長 當麻 洋様（横浜中RC）
本日は宜しくお願い申し上げます。

鈴木幹久会員

當麻様 本日はお忙しい中卓話をいただきありがとうございます。
よろしく御指導のほどをお願い致します。

町田喜江会員

當麻様 本日は宜しくお願い致します。

須山文夫会員

矢野さん昨日はごちそうさまでした

秦 琢二幹事

當麻洋様、本日の卓話、よろしくお願いいたします。

委員会報告

●親睦活動委員会 八尋匡彦家族会委員長

既にメールやFAXでご案内しておりますが、12/14(水)
18時から横浜ロイヤルパークホテルにて家族会を開催し
ます。今、出欠簿を回覧しますので、お名前の横に○を
つけて当日ふるってご参加下さい。
なお、例年より予算を多めに頂きましたので、ビンゴ景
品もハイパーインフレモードで準備しております。
みなさまのご参加をお待ちしております。

●社会奉仕委員会 宮崎真一委員長

10月19日地区補助金事業を利用して南大師中学校でSDGs
を实践するカード形式のワークショップを開催いたしま
した。
全学年約250名くらいかと思いますが、全員参加、2部
制で学んできました。最初、ゲームの内容がよくわから
ずに見学をさせていただきましたが真剣にカードゲーム
に取り組んでSDGsを体験できたのではないかと思います。

卓話者の紹介 鈴木幹久ロータリー財団委員長



11月がロータリー強化月間です。皆様にあなウンスをするのが遅くなりまして誠に申し訳ございません。

当麻洋一（たいま よういち）様
昭和42年生まれ
西鎌倉にお住いのようです。
勤務先：本牧神社
職業：神職

平成元年
鎌倉八幡宮に奉職をされ26年間ご奉仕をされました。
平成27年
本牧神社の宮司として現在に至っています。

ロータリー歴

2019年 第6グループの横浜中ロータリークラブにご入会
2020-22年 米山奨学生カウンセラー
2022-23年 横浜中ロータリークラブ 副会長
2022-23年 第2590地区ロータリー財団 財団補助金委員会の副委員長

当麻様の補助委員会のご審議を頂き当クラブSDGsを実施する学校支援プロジェクトで川崎市立南大師中学校のところに補助金をいただきました。
それでは、卓話をお願いします。

卓話

地区ロータリー財団補助金委員会 副委員長
当麻 洋一様



ロータリー財団について

①国際ロータリー第2590地区ロータリー財団補助金委員会副委員長を仰せつかっております・横浜中ロータリークラブの当麻と申します。本日は、ロータリー財団についてお話をするお時間を戴きました。皆様には既にご高承の事が多いかと存じますが、改めてお聴き取り戴ければ幸いです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

②それでは先ず、ロータリー財団の概略についてお話し致します。

今から105年前の1917年、第一次世界大戦・ロシア革命と云った時代背景の中で、当時の国際ロータリー会長：アーチC. クランフが提唱した、「世界でよい事をするために」と云う理念から基金が生まれました。最初の寄付額は、わずか26ドル50セントだったと云う事ですが、11年後には「ロータリー財団」に名称が変更され、今では、人道的・教育的な奉仕活動を行う大きな非営利法人に成長し、その寄付額は、主に恒久資金として10億ドル以上を受ける財団となっています。国際ロータリーが「奉仕の理念を追求する組織」であるとするならば、ロータリー財団は「奉仕の実践を行う組織」と云う事になります。

③ロータリー財団の活動は、国際ロータリーの「重点項目」、即ち

1. 平和と紛争解決・紛争予防
2. 疾病の予防と治療
3. 水と衛生
4. 母子の健康
5. 基本的教育と識字率の向上
6. 経済と地域社会の発展
7. 環境の保全

この7項目を基本軸として、国際的或いは地域社会をフィールドとした社会奉仕活動、国際親善を兼ねた奨学生の派遣、専門職業分野での技術指導者の派遣や研修者の受け入れ、国際的な平和構築の為に人材育成など、幅広いプログラムの実行・実現へのお手伝いをさせて戴いております。

その活動の主旨が広く公的にも理解され、2010年12月24日に内閣府より公益財団法人としての認定を受け、以来、ロータリー日本財団への寄付者に対する税制上の優遇措置を受ける事が可能となりました。

④各クラブで、「ロータリー財団のイメージはどのようなものですか？」と伺うと、「お金集め」「難しくて実はよく分かっていない」と言う言葉が返って来るのが実情ではないでしょうか。実際、私自身もこの委員会にご縁を戴くまでは、殆どそういった感覚であったと云うのが偽らざるところです。

財団のプログラムは多岐に亘り、且つ複雑な手続きを踏んで行かなければなりません。この「手続き」が「分かりにくい」と云うイメージを作っているようですが、これは財団の資金が、全て善意からなる寄附によって支えられているからであり、皆様からお寄せ戴いた貴重な資金を厳格な手続きと管理で運営するのは当然の事です。であればこそ、分かり易い説明を通じて多くの皆様からご理解を戴けるように努める事が大切になって参ります。

⑤では、ロータリー財団についてよく聞かれる質問や疑問につきまして、いくつかお話しさせて戴きます。先ず、国際ロータリーとロータリー財団の違い・関係性についてです。

「世界でよい事をするために」と云う提唱から生まれたロータリー財団は、皆様からお寄せ戴く寄附を原資として様々な人道的・教育的奉仕活動を行う財団です。その公益性から、慈善事業として寄付者もその管理機構の税制の優遇を受けられるので、通常のビジネスとは異なる管理体制と監査機構を持つ必要性から、国際ロータリーとは別の組織として運営されています。

とは云うものの、財団の人事権は国際ロータリーが持ち、また、ロータリー財団の法人会員は国際ロータリーのみと云う事から、「国際ロータリーのロータリー財団」と呼ばれています。そして、二つの組織の理念・実践の目的は一体化されており、“ONE Rotary”と称されています。

⑥次に「シェアシステム」についてお話し致します。皆様からお預かりした寄附は、「年次基金」と「恒久基金」が合算されたものとなります。その資金は、お預かりしてから三年後に二つの大きな資金に分けられます。一つは“DDF”と略称される「地区財団活動資金」、またもう一つは“WF”「国際財団活動資金」です。

「地区財団活動資金」は地区のお財布とお考え下さい。一方の「国際財団活動資金」は、世界共通のロータリー財団のお財布となります。このように資金を分配する事を「シェア・システム」と云います。

⑦シェア・システムによって資金が分配される時期は、皆様から寄附をお預かりした三年後と申しましたが、この三年間は資金の投資期間です。三年間の投資後に、資金は分配され夫々のプログラムに使用されて行きます。同時にこの三年間を、地区や各クラブは、実施したいプログラムの調査・企画立案・下準備の為に費やすこととなります。

図でお示しする通り、2022-23年度・志村ガバナ一年度につきましては、三年前の2019-20年度・轟ガバナ一年度に積み立てられた資金を使用することとなります。

⑧次に、ロータリー財団の資金の投資についてご説明致します。

やはり実績がどのようになっているのか、気になるところです。

2020-21年度の恒久基金の投資利益率は年利30.5%でした。2011年からの10年間を通じては平均7.5%という投資実績をもちます。

この投資利益を寄付金に還元して、プログラムは実行されているのです。

尚、景気の動向によって一時的なマイナスはありますが、長期投資においては確実な資金運用が行われています。

⑨また、「ロータリー財団の資金は、プログラムにどのくらい使われているのか？」と云う点も気になられると思います。現況では、皆様からお預かりした寄附金の約90%が、慈善事業のプログラムとその運営費に使用されています。

ロータリー財団の一般管理運営費の割合が低く抑えられている事は、他の財団と比較しても特筆すべきものです。それゆえに、奉仕団体の格付け機関であるチャリティナビゲータからも、14年連続で最高評価の4つ星を受けています。

⑩この4スターの評価を受けているのは、何千もの慈善団体の僅か1%と云う事ですから、ロータリー財団の財務の健全性、説明責任と透明性に対する徹底した姿勢が高く評価されている事が分かります。

⑪その資金は、この様に「地区補助金」「グローバル補助金」「ポリオプラス」「ロータリー平和センタープログラム」といった事業に使用されています。

⑫こちらは、2022-23年度の地区補助金の予算分配の実績です。

クラブ奉仕として22クラブに695万円、地区奨学生3名に合計で798万円、その他管理費を含めて1,538万円を分配しています。

⑬ここまでお話し致しました財団の活動を、よりよく理解する情報源として二つのツールを紹介させて戴きます。

ひとつは「財団室ニュース」です。現在のロータリー財団の活動について、様々な情報を入手出来る、RI日本事務局が発行しているペーパーメディアです。当地区では、神奈川ロータリークラブ様が、WEB上にアップして下さっていますので、是非アクセスして見て下さい。

そしてもうひとつの情報網が「マイロータリー」です。これは、ロータリー財団の事に限らず、広くロータリーの情報全般を発信し、さまざまな活動事例を提供してくれるネット上のツールです。

⑭さて、現状の財団の活動資金は、会員の減少と共に減少傾向にあります。

残念ながら、当地区でも会員減少に歯止めが掛からず、その結果として年次基金も含めて減少が見られる事は事実です。

実際に、年次基金の合計額も、この五年間で195,000ドルから170,000ドルへと減少しています。財団活動資金は、先程もお話した通り三年前の年次基金他の合計が原資です。

2022-23年度、本年度の寄付は、三年後の2025-26年度の活動資金となります。斯様に、資金の源が減少している一方で、各クラブからのロータリー財団プログラムに対する要望、特に地区補助金については増加傾向にありますので、当委員会としては、これからも要望通りに各クラブに資金をお使い戴けるように心がけて参ります。と、同時に各クラブにも地区と共に努力する事をお願い致します。

⑮「頭打ち」の現状にある財団への寄付金ですが、各クラブにおけるロータリー財団への理解が浸透し、財団への寄付が増えれば、地区としてより多くの財団プログラムを実施する原資が増えて来ます。

結果として、多くのクラブからのご要望にお応え出来る事で、地域での社会奉仕活動の機会が増え質も向上し、ロータリーに対する認知度も向上して会員増強にも繋がって行くと言う好循環のサイクルが生まれるものと信じます。

この三年間はコロナ禍による追い打ちもあり、非常に厳しい環境下ではありますが、皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

⑯皆様からロータリー財団に対してお寄せ戴く代表的な寄附形態としては、次にあげるものがあります。

先ず、「年次基金」については、年間に会員一人あたり150ドル以上の寄付をお願いしており、地域や海を越えて実施されるロータリー財団の幅広い活動をサポートする主な資金源となります。

次に、「恒久基金=ベネファクター」です。年間に、各クラブより1名以上、会員数50名を超えるクラブは2名以上、1名相当1,000ドル以上の寄付をお願いするものです。恒久基金は、ロータリー財団の補助金とプログラムの末永い存続を確かなものとする為に恒久的に投資され、基金の価値総額の一定の割合が、毎年ロータリー財団プログラムと補助金の為に使用されます。

そしてもう一つが「ポリオプラス」です。こちらは年間に会員一人あたり30ドル以上を寄附戴き、ポリオ根絶への取組みに向けた使途指定寄附となります。

寄附して戴いたクラブ・個人には、その栄誉を称えて認証が贈られます。

尚、これ等の寄附には、今年度の地区目標もありますので、達成に向けてお力添えをお願い致します。

⑰では、次にロータリー財団の活動とはどのようなものなのか、その概略をお話しさせて戴きます。

「地区補助金」=“DG”は、地区内・地区外を問わずクラブで実施する奉仕プロジェクトで、交付される補助金予算の上限は3,000ドルです。

但し、プロジェクト費用の総額の20%はクラブが負担する事になっているため、上限一杯3,000ドルの補助金を受けるためには費用総額3,750ドル以上のプロジェクトを申請戴く事になります。

尚、個別の補助金の金額については、地区が決定致します。

地区補助金でのプロジェクトは、皆様には一番身近に感じて戴ける財団のプロジェクトであると思います。

補助金の交付額については、プログラムの内容を精査し、担当クラブの寄付状況なども加味して決定されます。

また、申請は書面郵送と定められており、本年度の締め切りは明春2月末日の予定となっています。

⑱「地区補助金」の申請を受けるのに際して、ロータリー財団は次の通り制約を設けています。

1. 特定の政治的・宗教的見解を推進する活動、宗教活動は不可です。

2. 土地や建物の購入、建物の新たな建設等は出来ません。

但し、橋・太陽光パネル・道路・電力供給網等を含む建物や、既存の建物の増築・改修は可能です。

3. プロジェクト受益者や協力団体への単なる金銭的支援は不可です。

4. ローターリー財団の審査・承認前に既に経費が発生した活動は不可です。

5. ローターリーのロゴマークは規程に則り、正確に使用しなければなりません。

6. プロジェクトに関与するクラブの会員が、実施に当たり些かなりとも利益・恩恵を受けることは出来ません。

7. 支援先が異なる場合でも、同一プロジェクトの申請は3年度までとなります。

以上がロータリー財団による制約事項です。

⑲また、財団による制約事項とは別に、当地区としての制約事項があります。

1. 地区補助金を使用した他クラブとの合同プロジェクトは、当地区としては推奨しません。仮に合同プロジェクトを立案しても、1プロジェクトとしてカウントし、補助金交付額は3,000ドルの上限を適用します。

2. 過去に補助金を使用して支援した同一支援先へのプロジェクトは不適格とします。新規プロジェクトの企画を推奨します。

3. クラブの周年行事への補助金使用は認めていません。

4. ローターリアンが積極的にプロジェクトに関与・参加しなければなりません。

以上が、ロータリー財団による制約に当たらなくとも、地区としては推奨されない、或いは認められない事項となりますので、申請に際しては考慮戴ければ幸いです。

⑳尚、地区補助金プログラムを利用する為には条件が決められています。

今年であれば12月8日にソシア21で開催される「ロータリー財団補助金管理セミナー」にご参加戴く必要があります。

また、地区に“MOU=Memorandum of Understanding”「クラブ参加資格認定の覚書」をご提出戴くことが必要です。MOUには、会長と会長エレクトの連署を求めます。これは継続性を持って実行プログラムの管理を行って戴くためのものです。この2つを満たす事が補助金申請に際しての前提条件となります。

また、補助金交付決定の審査にあたりましては、当該クラブの「年次基金」の寄附実績が加味される可能性があります。即ち、一人当たりの寄附目標額150ドル以上を達成したか否かが、実施年度のプロジェクト選考に影響を与える事になります。

㉑こちらは2022-23年度に採択された当2590地区の地区補助金プロジェクトの一覧です。コロナ禍の影響を受けつつも、22クラブの申請プロジェクトが承認され、既に財団からの補助金交付を受けてプロジェクトが動き出しています。プロジェクト補助金の総額は52,291\$です。

㉒次に、「グローバル補助金」=“GG”について。

GGは、国際ロータリーが提唱する7つの重点分野に該当する事を前提とした2つの地域、つまり実施国、援助国の双方が提唱する事による大規模プロジェクトです。実施費用の最低総額が3万ドル以上で、採択の裁量はロータリー財団となります。

GGを利用したプロジェクトは、全て重点分野の何れかに該当する事が必須要件となります。また、申請は時期を問うことなく随時となっていますので、ご検討の際には地区補助金委員会の「グローバル補助金担当」にお尋ね下さい。

㉓「ロータリー財団奨学生」の奨学金は、グローバル補助金による奨学金と、地区補助金による奨学金に分けられます。

「グローバル補助金奨学生」は、国際ロータリーの重点分野に関して研究する者に限られますが、「地区補助金奨学生」についてはその様な専攻分野の制約はありません。

こちら、GG奨学生の選考はロータリー財団の裁量、地区補助金奨学生の選考は地区の裁量となります。奨学生は国際親善の役割も担い、学業とともに受入国において活動を行います。

㉔「職業研修チーム」=“VTT”は、海外で指導したり、研修を受けたりする職業専門チームを派遣・受け入れプロジェクトです。7つの重点分野に関連する活動を、グローバル補助金を使って支援する事が出来ます。

㉕「ロータリー平和フェロシップ」は、国内外で紛争解決のための世界平和に貢献する未来の国際的リーダーを育成する事を目的に、2002年度に創設された国際的な奨学金制度です。

毎年、世界中で最高100名までの有為の人材が選考され、世界6か国、7つのロータリー平和センターで、それぞれの分野での研究をしています。日本では三鷹の国際基督教大学に同センターが開設されています。

②⑥本年度の地区大会では、日程二日目の10:00より、5名の日本人平和フェロー学友による「平和フォーラム」が実施されたことは、ご記憶に新しいことと存じます。

②⑦次は、「ポリオプラス」についてお話し致します。皆様ご高承の通り、ポリオプラスの“プラス”と云うのは、かつてポリオの他にハシカ・ジフテリア・結核・破傷風・百日咳の五つの主な伝染病をプラスして、共に撲滅することを目指す、と云う事を意味しておりました。しかし、ポリオの撲滅だけでも、それは容易な事ではありません。

“プラス”の今日的な意味は、「世界的なポリオ撲滅運動がもたらした遺産」の事を指しています。活動が始まった当初、125か国あったポリオ常在国も、今日ではアフガニスタン・パキスタンの二か国となりました。現在、この地域が再び政情不安な状態にあることが危惧されます。

②⑧ロータリーは、1979年にフィリピンの子供たちにポリオの予防接種を始めて以来、パートナー団体であるWHO・ユニセフ・米国疾病予防センター等とともに懸命に活動継続し、ついに全世界でポリオの発症数を99.9%減らす事に成功しました。

今、あと一歩でポリオを撲滅出来るところまで来ていますが、つい最近ニューヨークやロンドンの環境サンプルからポリオウイルスが確認されるなど、脅威が完全に消えた訳ではありません。ポリオ撲滅は、今日もなお国際ロータリーの「最優先事項」とされているのです。

29 さて、ここまでロータリー財団の主だった活動について、ご説明させて頂きました。第2590地区では、ロータリー財団に関連する委員会組織を設けています。ロータリー財団の多岐に亘るプログラムに、しっかりと対応する為です。また、監査委員会は、財団委員会とは別組織となっています。

③⑩結びになりますが、地区のロータリー財団委員会の「資金推進委員会」が各クラブに対して財団への理解促進・寄付増進に向けての相談・助言を実施して参ります。単に「寄附を依頼する」のではなく、財団への理解促進を図る事で、結果としての寄付の増進を図って行く事を目指しています。

従前、財団に対する資金協力に重きを置いておりましたが、その過程の中でともすれば、ロータリー財団に関する十分な広報と理解促進の為の活動は薄れていた様です。

これまでの主な取り組みであった「資金推進=寄附」ではなく、「資金推進=財団への理解、そして理解を踏まえての寄附協力」と云う構図に変えて参ります。

③⑪ロータリー財団による「奉仕の実践」への参画がクラブを活性化し、ロータリー全体の発展に繋がる事を大いに期待するところです。今後とも宜しくご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。ご清聴、誠に有難うございました。

謝辞 炭谷博功会長

今、卓話をきいておりましたその内容はロータリー財団の歴史100年以上前に世界でよいことをするためにということ、初めて認識した次第です。

国際ロータリーとロータリー財団との違い、我々の寄付が地区の90%が慈善事業に使われている説明がございました。

補助金というのは非常に幅が広くかつ奥深いものであるということを感じました。わかりやすい言葉で講義をしていただきまして本当にありがとうございました。

●閉会宣言並びに点鐘 炭谷博功会長

日時：2022年12月14日(水)
移動例会 「年忘れ家族会」
18:00 点鐘
場所：横浜ロイヤルパークホテル
宴会棟 3F 「鳳翔の間」

日時：2022年12月21日(水)
日時：2022年12月28日(水)
日時：2023年 1月 4日(水)

休会（定款細則に基づく休会）

1月4日は9時30分～16時まで川崎大師駅前にて
献血活動が行われます。ご出席ください。

日時：2023年1月11日(水)
移動例会 「新春4クラブ合同例会」
12:30 点鐘
場 所 川崎日航ホテル 12階 「鳳凰の間」



八尋 匡彦/竹中 裕彦/大崎 克之/檜山 雄彦

10月度 出席報告

氏名	例会数	ホームクラブ	メアップ	出席率	ホームクラブ100%	備考	氏名	例会数	ホームクラブ	メアップ	出席率	ホームクラブ100%	備考
布川 二三夫	3	0	0	免3回			大谷 茂	3	2	1	100		
鈴木 幹久	3	1	1	免1回			奥山 啓寛	3	2	0	66.7		
宮山 光男	3	3	1	133.3	○		笹沼 裕丈	3	0	0	0		
野沢 隆幸	3	2	1	100			石渡 勝朗	3	2	0	66.7		
林 鶴	3	2	1	100			舞川 扇彩	3	3	3	200	○	
安藤 賢一	3	2	0	66.7			宮崎 真一	3	3	1	133.3	○	
嶋崎 嘉夫	3	3	0	100	○		早坂 清裕	3	2	1	100		
炭谷 博功	3	3	5	266.7	○		小泉 敏和	3	0	0	0		
竹中 裕彦	3	1	2	100			平位 武	3	2	1	100		
横山 俊夫	3	2	0	66.7			檜山 雄彦	3	2	0	66.7		
布野 真治	3	0	0	免3回			町田 喜江	3	1	1	66.7		
矢野 清久	3	2	1	100			佐藤 和義	3	1	1	66.7		
岩井 茂次	3	3	0	100	○								
鈴木 昇二	3	2	0	免1回									
須山 文夫	3	3	2	166.7	○								
秦 琢二	3	2	3	166.7									
小林 勇次	3	1	0	33.33									
牛山 裕子	3	3	10	433.3	○								
坂東 保則	3	1	1	66.7									
船木 幸雄	3	0	1	33.3									
沼田 直輝	3	0	1	33.3									
出井 宏樹	3	0	0	免3回									
内田 省治	3	3	3	200	○								
大崎 克之	3	0	0	0									
猪狩 佳亮	3	2	1	100									
松井 昭三	3	2	0	66.7									
磯田 稔	3	3	1	133.3	○								
星野 祐治	3	2	5	233.3									
八尋 匡彦	3	2	7	300									
森田 尊久	3	2	1	100									
布川 浩	3	3	5	266.7	○								
							出席率	79.34%					

